

発行：鎌倉市深沢地域整備課

Topics

- 深沢地域整備事業の取り組み状況
- 鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会について
- 深沢地区内権利者全体会の開催について

深沢地域整備事業の取り組み状況

● 広域的なまちづくりの実現に向けて、基本事項に合意しました

深沢地区・村岡地区のまちづくりと新駅の実現に向けた合意

神奈川県、鎌倉市及び藤沢市（以下「3県市」という。）は、湘南地区における新たな都市拠点の形成に向けて、鎌倉市深沢地区と藤沢市村岡地区の一体的なまちづくりを行い、併せて、JR東海道本線の大船・藤沢駅間に新駅を設置することについて、検討を進めてきました。

平成30年12月27日に、3県市は、両地区一体のまちづくりと新駅の実現に向けて、次の内容をもって合意するとともに、「村岡新駅（仮称）設置協議会」を設立しました。

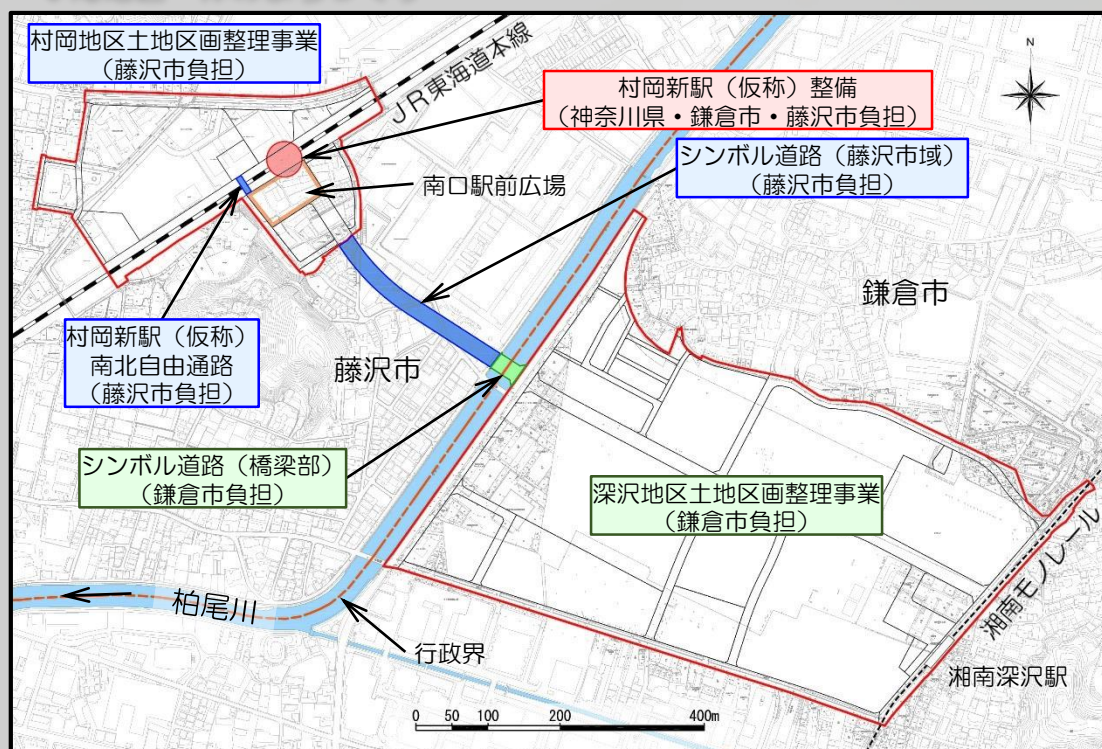
○主な合意内容

- (1) 両地区のまちづくりについては、両市の負担により一体施行で取り組むこととし、平成33年度の都市計画決定を目指す。
- (2) 新駅については、JR東日本にも整備費の負担を求めていくことや、3県市の基本的な費用負担割合について合意し、平成31年度の新駅駅舎等の概略設計着手を目指す。

○村岡新駅（仮称）設置協議会について

- (1) 新駅の実現に向け、3県市で構成する「村岡新駅（仮称）設置協議会」（会長：神奈川県知事）を設立しました。
- (2) JR東日本に対して、新駅設置を要望するとともに、整備費の負担や新駅駅舎等の概略設計の実施を求めていきます。

◆両地区一体のまちづくり



● 第1回鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会を開催しました

○設置の経緯・目的

深沢地域整備事業のまちづくりのテーマ『ウェルネス』の具体化を図るため、コンセプトの深掘りを行うとともに、コンセプトに沿ったまちづくりの実現に向けた検討を進めています。

市では平成30年11月に、この検討をさらに推し進め、平成28年10月策定の修正土地利用計画(案)の構成コンセプトごとの具体的な施策の実現化などを検討するため、まちづくり・健康・スポーツ等の専門家から構成する『鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会』(以下「検討委員会」という。)を設置しました。

○検討委員会での検討事項

検討委員会へ、下記の事項の検討を諮問しました。

- ・将来の社会環境の変化等にも対応できる実現性の高いまちづくりコンセプト及び実現化施策の検討
- ・コンセプト及び実現化施策を踏まえた修正土地利用計画(案)の再点検
- ・まちづくりのコンセプト、実現化施策及び土地利用計画を実現していくためのまちづくりの推進体制
 - さらに、本庁舎等の移転に伴い、深沢地区は防災の拠点として機能する必要があることから、
- ・防災の拠点を支えるためのまちづくりの考え方や備えるべきまちの機能等

◆実施概要

日時	平成30年11月20日(火) 10:30~12:00	傍聴者	6名
場所	鎌倉市役所 全員協議会室	議事事項	<ul style="list-style-type: none"> ・深沢地域整備事業の概要及びこれまでの検討経過 ・今後の進め方 ・深沢地区の防災に関する事項

◆検討委員会委員(50音順)

委員	専門分野	委員	専門分野
入江 貴裕 氏	金融	中村 英夫 氏	都市計画・交通計画・市街地整備
大木 聖子 氏	防災(地震学、防災教育)	日高 仁 氏 (副委員長)	都市環境デザイン・コミュニティデザイン
佐久間 信哉 氏 (委員長)	健康・ヘルスケア施策	福岡 孝則 氏	ランドスケープ
関根 正人 氏	防災(水工水理学、河川工学)	増井 玲子 氏	官民連携
辻 秀一 氏	スポーツ		

◆委員からの主な意見

- ・10年、20年という長いスパンのまちづくりとなるため、まちづくりの推進にあたっては、その時点、その段階で一番適切な方向付け、決定ができる仕組み、体制づくりをすべき。
- ・行政のマネジメントの下、どれだけ民間の協力を引き出せるかがカギとなる。
- ・ウェルネスなまちづくりに向け、歩行者優先のコンパクトな歩きやすいまちのデザインが必要。
- ・スポーツで賑わうまちづくりを実現するため、スポーツそのものが持つ文化的な価値を広げ、スポーツに親しみやすい環境をつくれるようなアイデアを取り入れる。
- ・鎌倉や深沢に今あるものを活かしながら、持続可能性や情報技術の進歩の視点など、将来の変化を見据えたまちづくりが望ましい。
- ・SDGs(※)未来都市の鎌倉に相応しい、誰一人取り残されないコミュニティづくりをすべき。
- ・防災対策では、ハード対策のみで安全を確実に確保することはできないため、いざと言うときには避難すべきことの理解や備えが必要である。
- ・防災拠点となる深沢地区においては、まちも市役所本庁舎も、被災したとしても、後にいち早く機能回復できることが重要である。
- ・深沢地区の防災面での対応については、専門的な見地からの検討が必要であるため、「防災部会」を設置し、検討する必要がある。

● 第1回鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会防災部会を開催しました

○設置の経緯・目的

第1回検討委員会における「防災」についての意見を受け、様々な災害リスク(津波、洪水・浸水、液状化、土砂災害、風雪害)に対する深沢地域整備事業用地の強靱化に向けた検討や、支援・受援、復旧・復興といった被害を受けてしまった後の対応等の防災対策について、より専門的な見地から検討を行うため、『鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会防災部会』(以下「防災部会」という。)を設置しました。

○防災部会の検討事項

防災部会では、災害発生時の司令塔となる本庁舎を含む新たなまちづくりの拠点として、深沢地域整備事業用地の防災因子を評価・確認するとともに、本市の新たな防災拠点としてのハード面、ソフト面、環境、経済性など、様々な視点から必要なまちの機能やまちづくりの考え方について、検討するものです。

◆実施概要

日時	平成30年12月10日(月) 15:00~17:00	傍聴者	2名
場所	鎌倉市旧大船駅周辺整備 事務所会議室	議事事項	(1)深沢地域整備事業の概要及びまちづくりの考え方 (2)深沢地区の災害想定と整備計画 ①津波・洪水浸水 ②地盤・液状化・土砂災害 ③避難・支援・受援、復旧・復興

◆部会委員等(50音順)

部会委員	専門分野	関係者	専門分野
大木 聖子 氏	地震学、防災教育	規矩 大義 氏	地盤工学、地盤防災工学、 がけ地・液状化対策
関根 正人 氏 (部会長)	水工水理学、河川工学	目黒 公郎 氏	都市震災軽減工学

◆防災部会の役割など

- この防災部会は、市全体の防災対策を所管する防災安全部及び本庁舎の移転を管轄する行政経営部と連携し、深沢地区の防災面の検討について市一丸となって取り組んでいるものです。この地区の災害リスクや必要となる備えについて、様々な角度からの検討を行うため、部会委員である水工水理学、河川工学を専門とする関根教授、地震学、防災教育を専門とする大木教授に加え、関係者として鎌倉市防災・危機管理アドバイザー(防災安全部所管)である規矩教授、鎌倉市本庁舎整備方針策定委員会(行政経営部所管、平成28年度開催)の委員であった目黒教授を招致し、幅広い議論を行っています。
- 防災部会での議論の内容は、報告書として取りまとめ、検討委員会にフィードバックし、今後のまちづくり全般の検討に活かしてまいります。併せて、鎌倉市本庁舎等整備委員会(行政経営部所管、平成30年度開催)とも報告書を共有し、災害時対応の拠点としての役割を担う新たな本庁舎に係る検討にも活用します。

※ 第1回の防災部会の検討内容については、改めてお知らせします。

● 今後の委員会の予定について

検討委員会での検討は、平成31年11月までの約1年間で、全6回の開催を予定しています。
第2回の検討委員会は、平成31年1月29日(火)午前10時からの開催を予定しています。
第2回の防災部会は、平成31年1月21日(月)15時30分からの開催を予定しています。

(※)SDGsとは・・・持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

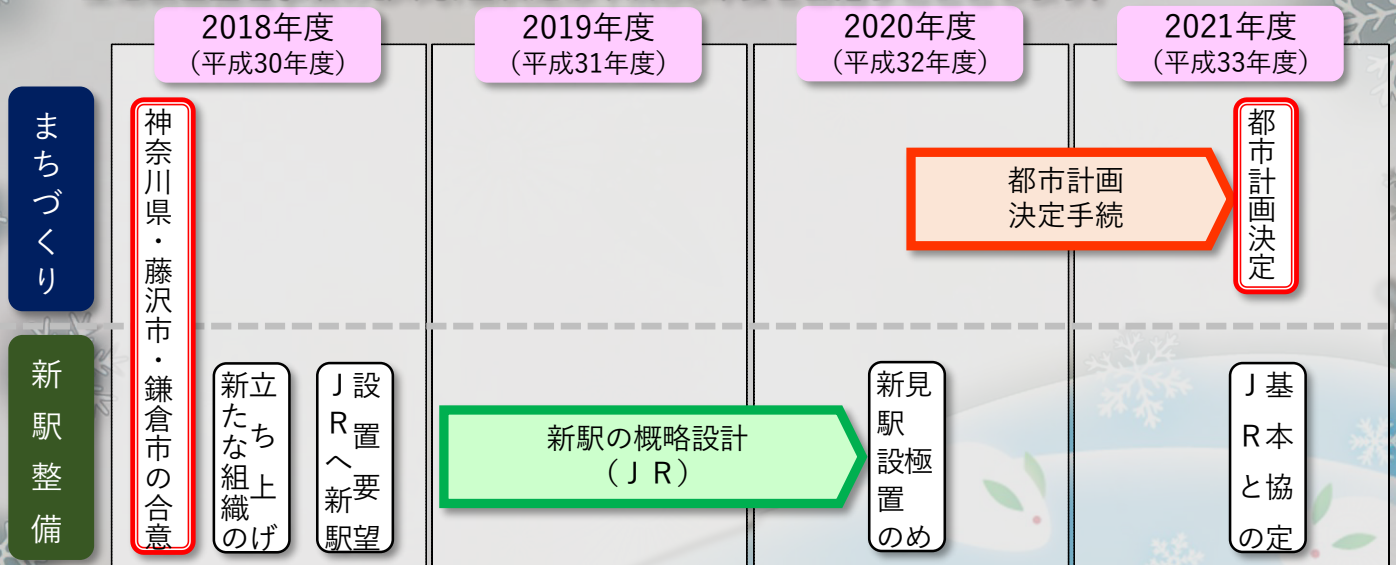
平成30年12月6日(木)及び9日(日)に鎌倉青果地方卸売市場2階大会議室において、第31回深沢地区まちづくり検討部会全体会を開催し、「深沢地域整備事業の取り組み状況」、「今後の進め方・スケジュール(案)」、「基盤整備後のまちづくり」について説明を行いました。

権利者の皆様からいただいた主な質疑等は、次のとおりでした。

○主な質疑と市の回答

土地区画整理事業関連	
Q) まちづくりに長く時間を要しているが、確実に事業を進めていけるのか?	A) 両地区一体施行の方が、深沢地区が単独で施行する場合と比べ資金面の優位性が確認されたこと。また、神奈川県のリダーシップにより協議がまとまってきたことから、確実に事業が実施できるものと考えています。
Q) 3県市の合意は、新駅設置が前提となるのか?	A) 新駅を含む両市一体のまちづくりの実現を前提としたものです。
Q) 国庫補助金の配分率を上げるための具体策は?	A) 新駅設置を前提として藤沢市村岡地区と鎌倉市深沢地区の一体的まちづくりを行うことで、国の方針にある「交通結節点の改善促進などに資する事業」に該当するため、重点配分が受けられると考えています。
Q) 現地における工事の期間は?	A) 工事は段階的に行っていくが、工事着手より、約9か年で全体を完了させる予定です。
Q) 本庁舎移転より20年近く待っている権利者を優先とした事業展開を希望する。	A) 権利者の皆様にはご心配、ご迷惑をおかけしています。実現にあたっては、地元権利者の生活再建を優先とした事業展開を検討します。
Q) 事業認可の段階において、利用できる区画は決まっているか? 民間の土地利用はどの様に進むのか?	A) まちづくりガイドラインを定めていく予定であり、利用できる区画は事業認可後の仮換地により決定します。コンセプトの実現に資する施設や機能の立地を誘導していきたいと考えています。
新駅設置関連	
Q) 工事費用は、JR東日本が全額負担するのか?	A) 3県市に加え、JR東日本に負担を求めることで協議を進めます。
Q) 工事費用の負担額は?	A) 現在未決であり、3県市の基本的な合意に基づき、今後の協議にて決定していきます。
Q) 新駅の想定乗降客数は? 新駅から湘南深沢駅までの距離は?	A) 約65,800人/日と想定しています。新駅から湘南深沢駅までは約1.1km、徒歩で15分程度となります。
その他	
Q) 新駅と湘南深沢駅を結ぶ新しい交通手段を検討してほしい。	A) 今後バス事業者等とも協議し検討していきます。
Q) サークスの興行場所は?(暫定利用)	A) 湘南深沢駅西側に隣接する旧JR梶原社宅用地内に計画されています。

◆村岡新駅(仮称)の概略設計に平成31年度から着手し、土地区画整理事業の都市計画決定は平成33年度を目指すこととします。



※「新たな組織」：村岡新駅(仮称)設置協議会

★お知らせ★

同内容を右記のHPにも掲載しております!! 今後も、より良いまちづくりに向け、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

深沢地域周辺地区のまちづくり

検索

計画についての問い合わせ先:

鎌倉市まちづくり計画部 深沢地域整備課

〒247-8686 鎌倉市鎌倉市御成町18番10号

TEL: 0467-61-3760 FAX: 0467-23-8700

E-mail: kamafuka@city.kamakura.kanagawa.jp

HP: http://city.kamakura.kanagawa.jp/kyoten/fuka.html

